

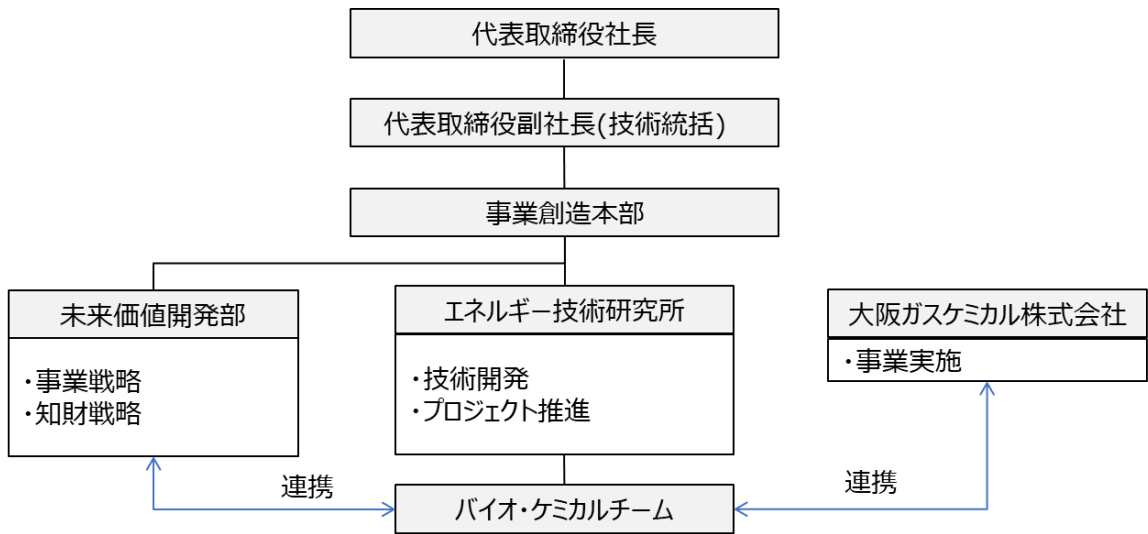
マネジメントシート

プロジェクト名：木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業
実施者名：大阪瓦斯株式会社

(1) 組織内の事業推進体制

(a) 組織内体制図

代表取締役社長、および技術統括である代表取締役副社長の下のマネジャーのもと、エネルギー技術研究所 バイオ・ケミカルチームが本事業の主担当部署となり、開発を進めていく。また、社会実装を推進するにあたり、関係部署である未来価値開発部、事業会社である大阪ガスケミカルと連携する。



※2024年12月時点

組織内体制図

(b) 組織内の役割分担

●研究開発責任者と担当部署

- ・研究開発責任者
エネルギー技術研究所のバイオ分野のフェローが担当し、全体のプロジェクトを推進
- ・主担当部署：エネルギー技術研究所バイオ・ケミカルチームにて、BHB、へム鉄、1-ブタノールの開発を実施
- ・連携部署：未来価値開発部、大阪ガスケミカル株式会社

●部門間の連携方法

- ・部署間の連携：社会実装に向けた検討協議である連携会議をエネルギー技術研究所、未来価値開発部、大阪ガスケミカル3社合同で定期的に設けており、過去から開発を既に進めているBHBについてマーケティング等を検討する場が既に存在しており、本事業についてもこの場を活用して検討を具体化していく。

(2) 経営者等の事業への関与の方針

(a) 経営者等による具体的な施策・活動方針

・経営層のリーダーシップ

Daigasグループの目指す姿として、「暮らしとビジネスの“さらなる進化”のお役に立つ企業グループ」を掲げており、2030年度に向けた3つの思いの中に、「当社の強みを活かす事業・サービスの拡充」、「革新的な商品・技術開発、エンジニアリング」を含めた「長期経営ビジョン2030」を策定している。その中で、目指す事業領域として、材料ビジネスを含むLBS（ライフ&ビジネスソリューション）事業を当グループの柱の一つとして目指している。

また、2023年度Daigasグループ経営計画においても、イノベーションによる価値創造・新規事業として、BHB（3HB）も当社の保有する強みの一つとして記載している。

・モニタリング・管理

本事業の進捗をレビューする場にて、開発状況の進捗確認・今後の対応についての意見交換を行う。また、社長へは個別に進捗報告を実施することにより、管理できる体制を設ける。

(b) 経営者等の評価・報酬への反映

取締役の報酬は、持続的な成長と中長期的な企業価値向上の実現に対する取締役の意欲を高める報酬体系とし、社外取締役以外の取締役の報酬は、固定報酬としての基本報酬、業績連動報酬および株式報酬としている。

(c) 事業の継続性確保の取組

本事業は、上記LBS事業に該当する内容であり、長期的に目指す方向性と合致している。更に、本事業を提案することについて、当社内で適切な意思決定済みである。

(3) 経営戦略における事業の位置づけ

物質の販売について、他の物質（ヘム鉄、1-ブタノール）よりも先行して社会実装の準備を進めているBHBは、2023年度の経営計画にも記載されており、当社としては重要なビジネスの一つとして位置づけている。そのため、BHBについては当社研究所、未来価値開発部、大阪ガスケミカルでマーケティング等の製造販売戦略について検討し拡販を進めている体制があるが、ヘム鉄等、他のバイオものづくりにより生産された物質の社会実装についても適切なタイミングで戦略検討を実施していく。

(a) 取締役会等コーポレート・ガバナンスとの関係

- ・「長期経営ビジョン2030」に掲げている、これから目指す柱の一つであるLBS事業に合致している。
- ・ハロモナス菌を用いて製造されるBHBは、新規事業の一つとして当社の強みとして掲げている。

(b) ステークホルダーとの対話、情報開示

- ・2023年度Daigasグループ経営計画において、当社の独自発酵法により製造したBHB（3HB）を用いたサプリメント原料ビジネスの展開を記載している。
- ・本事業の採択時には、他の提案者と共に当社においても、プレスリリースを実施することにより、ステークホルダーへの情報開示を行う予定である。また、その他当社が関わる社外向け講演会・イベント

等において当社のバイオものづくりに関する取り組みを紹介していく予定である。

(c) 企業価値に関する指標との関連性

「長期経営ビジョン2030」において、2030年度の目指す姿として、2017年度分に対して連結経常利益を3倍に、またLBS事業・新領域（ガス・電力事業以外）での事業費率を増加することを掲げている。

(4) 事業推進体制の確保

(a) 経営資源の投入方針

当社は、過去10年以上かけてハロモナス菌による物質生産の開発を実施しており、培養方法、スケールアップ、物質精製技術等のノウハウを蓄積しているが、社外（グループ会社、グループ会社企業、大学含む）との研究等を実施するなど課題に対して、必要に応じて柔軟に対応していく予定である。

(b) 専門部署の設置と人材育成

当研究所バイオ・ケミカルチームが本事業の開発を担い、過去の大型のBHB製造試験においても当チームで実施しており、技術開発に必要な人材が当チーム内で揃っている。